

整理番号 1E0C0QA0

作成日 2026 年 7 月 28 日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ベルティッシュ T
供給者の会社名称	タカラベルモント株式会社
住所	〒542-0083 大阪府中央区東心斎橋 2-1-1
電話番号	06-6212-3619
FAX 番号	06-6212-3697
緊急連絡電話番号	06-6212-3619
推奨用途	環境表面の清掃・除菌
使用上の制限	他の洗浄剤と併用しないこと

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分 2
健康に対する有害性	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
発がん性	区分 1A
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（肝臓）、区分 2（中枢神経系）
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	区分 1
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 2

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肝臓）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]

使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。眼を触らないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

[応急措置]

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
接触部位を水又はシャワーで洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。
気分が悪い時は、医療処置を受けること。
漏出物を回収すること。

[保管]

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法)	濃度又は濃度範囲 (重量%)
エタノール	64-17-5	2-202	75
水	7732-18-5	なし	24.75
トリクロサン	3380-34-5	9-381, 9-922	0.2
塩化ベンザルコニウム	68424-85-1	3-326, 3-2694	0.05

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。接触部位を水又はシャワーで洗うこと。症状が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をよくすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または SDS を持参する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、アルコール耐性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特有の危険有害性	加熱すると容器が爆発するおそれがある。 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な距離を保ち、通常の予防措置を講じて消火活動を行う。 適切な空気呼吸器、防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	河川、下水、土壌への放出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、廃棄容器に入れる。 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項	熱、火花、裸火、高温のような着火源から遠ざけること。ー禁煙。 取扱い後はよく手を洗うこと。 使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 ミスト、蒸気を吸入しないこと。皮膚、眼との接触を避けること。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
安全な保管条件	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。ー禁煙。 容器は直射日光や火気を避けること。容器を密閉して換気の良い場所 で保管すること。施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	供給者が提供する容器包装

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度	(エタノール) ACGIH : TLV-STEL 1000ppm
設備対策	適切な排気設備を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	ばく露が予想される場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	ばく露が予想される場合、適切な不浸透性の保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	ばく露が予想される場合、適切な保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	ばく露が予想される場合、適切な保護衣等を着用する。化学薬品が浸透しない材質のものを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	透明な液体を含む不織布
色	白色（不織布）
臭い	特異臭
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限 3.3 vol%, 上限 19 vol%
引火点	> 21.5°C
自然発火点	> 384°C
分解温度	情報なし
pH	6.5 - 7.5
動粘性率	情報なし
溶解度	部分的に水に可溶
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	0.55-1.04 g/cm ³ (25°C)

相対ガス密度
粒子特性

情報なし
情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の保管条件/取り扱い条件において安定である。
危険有害性反応可能性	次亜塩素酸カルシウム、酸化銀及びアンモニアと反応する。強酸化剤と激しく反応する。
避けるべき条件	混触危険物質との接触、高温、火花、裸火、発火源との接触。
混触危険物質	強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア
危険有害な分解生成物	CO、CO ₂

11. 有害性情報

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

急性毒性（経口）	データなし、または分類基準に該当しない
急性毒性（経皮）	データなし、または分類基準に該当しない
急性毒性（吸入：気体）	データなし、または分類基準に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	データなし、または分類基準に該当しない。
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	データなし、または分類基準に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	データなし、または分類基準に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	Draize 試験において中等度の刺激性（エタノール）
呼吸器感作性	データなし、または分類基準に該当しない
皮膚感作性	データなし、または分類基準に該当しない
生殖細胞変異原性	データなし、または分類基準に該当しない
発がん性	アルコール飲料の発がん性に関する多くの疫学データにおいて十分な証拠がある。エタノールの摂取により、エタノール及び主代謝物であるアセトアルデヒドが食道などに悪性腫瘍を誘発する。（エタノール）
生殖毒性	出生前にエタノール摂取すると新生児に胎児性アルコール症候群を誘発する。これらはヒトに対するエタノールの生殖毒性を示す確かな証拠と考えられる。動物実験でも妊娠ラットに経口投与した試験で奇形の発生がみられる。（エタノール）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	吸入ばく露により眼及び鼻への刺激症状が報告されている。血中エタノール濃度の上昇に伴い、軽度～重度の中毒症状（嘔吐、嗜眠、低体温、低血糖、呼吸抑制など）を生じる。さらに、呼吸または循環不全を引き起こす。（エタノール）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	アルコールの長期大量摂取により、脂肪変性に始まり、壊死と線維化の段階を経て肝硬変に進行する。ラットの 90 日間反復経口投与試験において、ガイダンス値範

誤えん有害性

困をかなり上回る高用量で肝臓への影響として脂肪変性が報告されている。(エタノール)

データなし、または分類基準に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類 96 時間 LC50 = 0.67 mg/L、甲殻類 48 時間 EC50 = 0.27 mg/L、藻類 72 時間 ErC50 = 0.0034 mg/L、魚類 38 日間 NOEC = 0.031 mg/L、甲殻類 21 日間 NOEC = 0.00034 mg/L、藻類 72 時間 NOErC = 0.0010 mg/L (トリクロサン) 魚類 96 時間 LC50 = 0.064 mg/L、甲殻類 48 時間 EC50 = 0.0059 mg/L、甲殻類 21 日間 NOEC = 0.00415 mg/L (塩化ベンザルコニウム)
残留性／分解性	データなし、または分類基準に該当しない
生物蓄積性	データなし、または分類基準に該当しない
土壤中の移動性	データなし、または分類基準に該当しない
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記される物質は含まれていない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・汚染容器及び包装	廃棄の際は火気のない場所で処理すること。 本製品を廃棄する場合は、環境への影響を制御するために、医療機関において感染性廃棄物と非感染性廃棄物に区分し、適切な許可を有する処理業者に処理を委託すること。
----------------	--

14. 輸送上の注意

国連番号	3175
国連輸送名	SOLIDS CONTAINING FLAMMABLE LIQUID, N. O. S.
国連分類	4.1
容器等級	II
IATA(航空規制)	
国連番号	3175
品名	SOLIDS CONTAINING FLAMMABLE LIQUID, N. O. S.
国連分類	4.1
容器等級	II
IMDG(海上規制)	
国連番号	3175
品名	SOLIDS CONTAINING FLAMMABLE LIQUID, N. O. S.
国連分類	4.1
容器等級	II
海洋汚染物質	該当しない
国内規制	毒劇及び劇物取締法、消防法、道路法等に該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

エタノール

名称等を通知すべき危険物及び有害物

エタノール

化学物質排出把握管理促進法

第一種/第二種指定化学物質

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

優先評価化学物質

アルキル (C = 12 ~ 16)
(ベンジル) (ジメチル) アンモニウムの塩

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物

該当しない

消防法

危険物及び指定可燃物

該当しない

16. その他の情報

引用文献

労働安全衛生法 管理濃度 (2021 年)

日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 (2025 年)

米国 産業衛生専門家会議 (ACGIH) TLV and BEIs (2026 年)

JIS Z 7253 : 2025 (GHS に基づく化学品の危険有害性の情報伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS))

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意してください。

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも完全性・安全性や信憑性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。